

青葉山の風景

国立大学法人宮城教育大学
同窓会会長(学長)

見上一幸



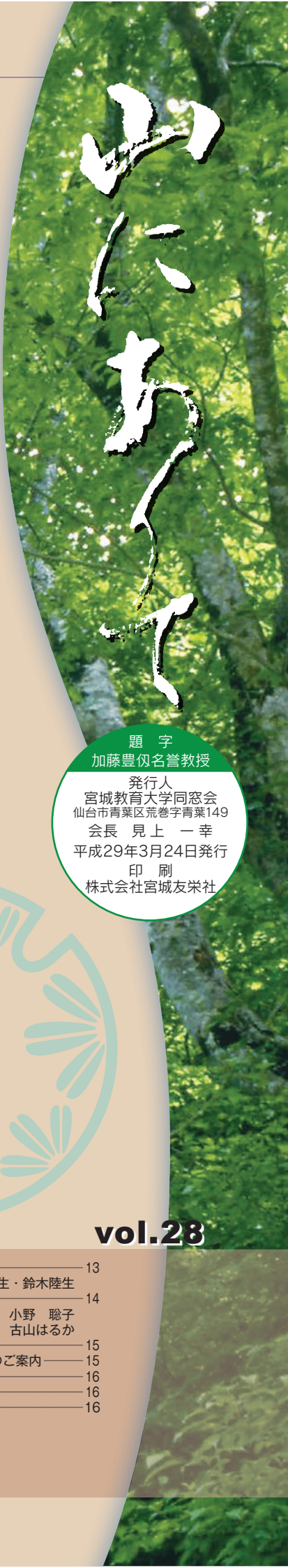
緑の奥深く木々に囲まれた宮城教育大学の青葉山キャンパスは、地下鉄東西線の開業と東北大学農学部が青葉山移転によって一帯が広大なアカデミックエリアとなり、風景が大きく変わりつつあります。本学に隣接していた旧ゴルフ場跡地には、東北大学の農学部が移転してきました。日本でも有数の地下深さを誇る地下鉄東西線の青葉山駅を登ると、東北大学から本学へと広がる青葉山の大学エ

リアが広がります。国際防災研究所の建物なども眺めながら本学まで徒歩六分ほどですが、稀にクマ出没情報もあり、日の短い冬季や荒天のときなどを考えて、夕方のみ青葉山駅と大学間を、試験的に送迎用マイクロバスを出しております。

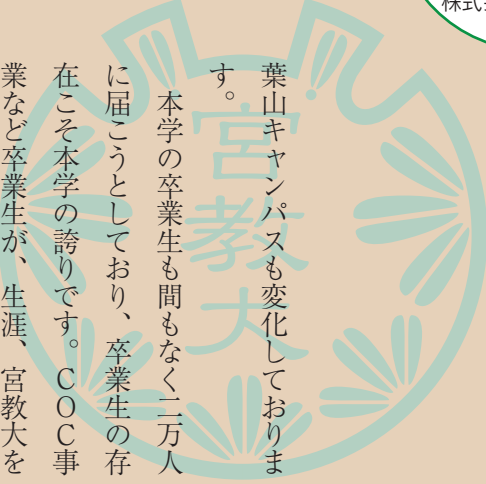
宮城教育大学でも建物の老朽化に伴い改修を毎年少しずつ進めています。最近では、教育復興支援センター（現在の防災教育未来づくり総合研究センター）棟を新築、昨年度は管理棟の改築、そして今年度は五十周年記念事業として皆様から多額のご寄付と国の支援で講堂の改修事業を進めております。来年度は環境教育実践研究センター棟の改修予算が付きましました。このように宮城教育大学の青

葉山キャンパスも変化しております。本学の卒業生も間もなく二万人に届こうとしており、卒業生の存在こそ本学の誇りです。COC事業など卒業生が、生涯、宮教大を活用していただけるような環境も整えています。また今年から継続して、気軽に母校をご覧いただけるようにホームカミングデーを開催する予定です。この機会に、懐かしい恩師や友との再開の場にしていただくなど、母校にお越しいただき、青葉山風景のご記憶をバージョンアップして戴ければ光栄です。

どうかこれからも新たな五十年に向けて、同窓会の充実と母校の発展にご支援をよろしく願います。



題字
加藤豊弼名誉教授
発行人
宮城教育大学同窓会
仙台市青葉区荒巻字青葉149
会長 見上 一幸
平成29年3月24日発行
印刷
株式会社宮城友栄社



vol.28

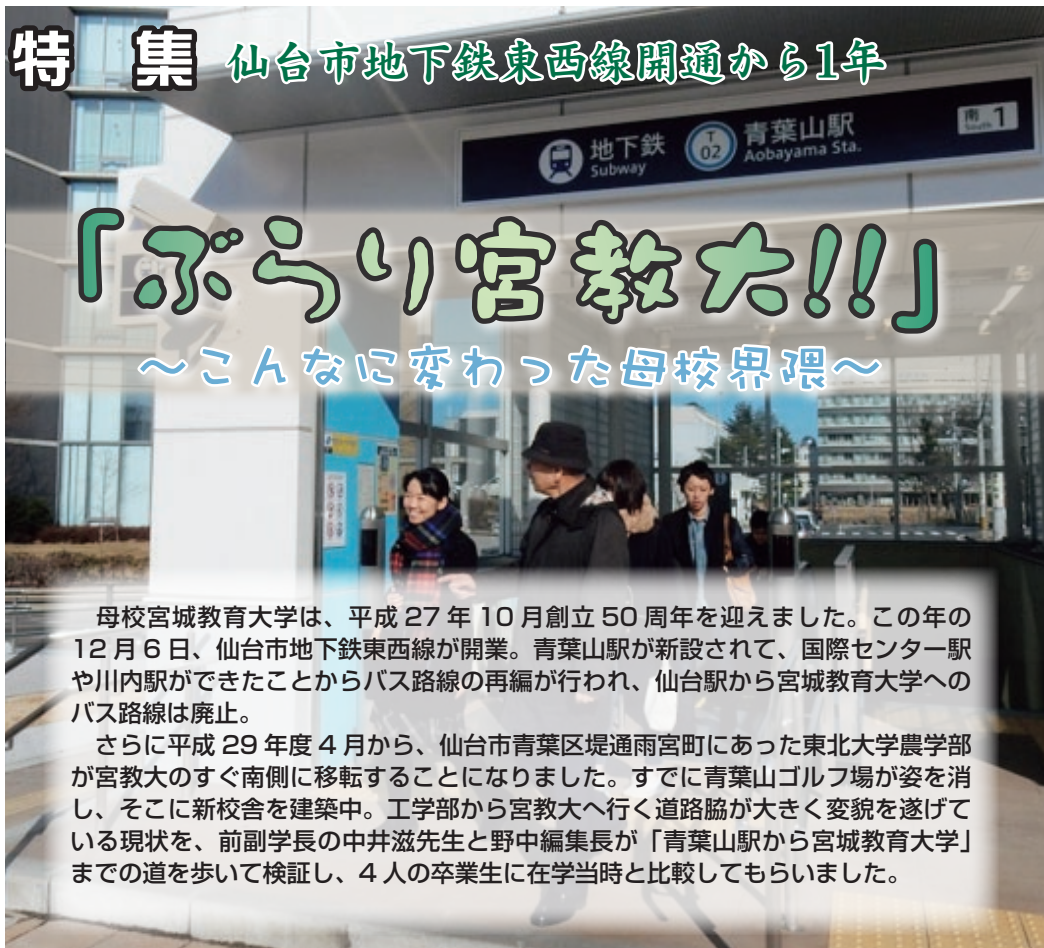
CONTENTS

・巻頭言「青葉山の風景」	1	・四コマ漫画「なまはげ」	8	・親子DE同窓生	13
宮城教育大学長 見上 一幸		・平成29年度(第30回)同窓会総会案内	8	鈴木一生・鈴木陸生	
・特集「ぶらり宮教大!!」	2	・同窓会事業・会計・予算	9	・サークル今昔	14
宮城教育大学	中井 滋	平成27年度庶務・会計報告		女子ソフトボール部	小野 聡子
大学生協	青柳 範明	平成28年度事業計画・予算		古山はるか	
玉浦小学校	平間 正信	・今年度定年退職教員	10	・お知らせ	15
台原中学校	鈴木友吉	小金澤孝昭	10	・ホームカミングデーのご案内	15
柳生小学校	前田 恵	新田 秀樹	10	・事務局だより	16
・同窓会報告		鎌田 慶朗	11	・訃報	16
		板垣 信哉	11	・編集後記	16
	又木 潤	・恩師は今	鈴木法日 12		
	石垣のりこ 6	・同窓生の輪	星 豪 12		
	本郷 栄治 7				
	三谷 公人 7				

特集 仙台市地下鉄東西線開通から1年

「ぶらり宮教大!!」

～こんなに変わった母校界限～



母校宮城教育大学は、平成27年10月創立50周年を迎えました。この年の12月6日、仙台市地下鉄東西線が開業。青葉山駅が新設されて、国際センター駅や川内駅ができたことからバス路線の再編が行われ、仙台駅から宮城教育大学へのバス路線は廃止。

さらに平成29年度4月から、仙台市青葉区堤通雨宮町にあった東北大学農学部が宮教大のすぐ南側に移転することになりました。すでに青葉山ゴルフ場が姿を消し、そこに新校舎を建築中。工学部から宮教大へ行く道路脇が大きく変貌を遂げている現状を、前副学長の中井滋先生と野中編集長が「青葉山駅から宮城教育大学」までの道を歩いて検証し、4人の卒業生に在学当時と比較してもらいました。

赴任当時の様子を振り返って

野中.. 中井先生は、いつ宮教大に赴任されたのですか。

中井.. 昭和六十年の十月です。その時、引っ越しの手伝いに来た方が、工学部から宮教大に向かう

道があまりにも細くて、「もうこの先には、大学なんてないだろう」と思い込んで、そのまま引き返してしまったのです。後で、あの細い道の先にあると人に聞いて、遅れて手伝いには来てくれましたが。

野中.. それはおもしろいエピソード

ですね。

中井.. 本当にもっと道が細くて狭くてうねっていました。当時、宮教大の生協と教職員組合と、学生自治会の三者で作っていた「宮教大豊かな学生生活を築く会」が、「この道路をまっすぐな道路にしてほしい、広くしてほしい」という要望書を仙台市に提出し、この道路が新しくなったという経緯があります。



地下鉄東西線(上)と地下鉄路線図(下)



母校の看板のある青葉山駅ホーム

大きく変わる周囲の様子

野中.. 建物が増えて、本当に景色が変わりましたね。以前の様子が思い出せないほどです。

中井.. 確かこの辺りにゴルフ場のバス停がありました。赴任当時、まだ道路沿いの建物はほとんどなくて、タラの芽が生えていて、取って食べていました。道路も確かゴルフ場側に一度下って上っていくような感じだったと思います。

野中.. 多くの学生がこの道路を歩いているのも以前と違う風景ですね。

中井.. 大学のパンフレットに『青葉山駅から徒歩〇分』と載せるの



旧ゴルフ場跡地に立つ災害科学国際研究所

に、ホームからにするか改札口からにするか、出口からにするか悩みました。ホームは地下六階ですからね。



1号館屋上から望む東北大農学部（旧ゴルフ場）

中井..私は三号館にいたのですが、

授業していると、ゴルフ場からアナウンスが聞こえるんです。

「〇〇様、スタートの準備ができました。インコースからスタートしてください」と。みんなが仕事しているときに、「中井様、中井様〜。」ってアナウンスしてもらったのを一度やってみたいと思っていました。(笑)

野中..三号館から見える景色もずい

ぶん変わったでしょうね。

中井..昔はゴルフ場が広がって見えていましたからね。



野中..農学部がどんどん広がっていき予定なのですよね。

中井..将来的にこの道路に信号と横断歩道を付ける予定のようですが、どこに作るか調整でしょうね。

野中..二つの大学が行き来できるよくなるのもおもしろいですね。

最近の大学の変化について

野中..正門前もきれいになりましたね。でも、バス停の行列はもう見られないのですね。

中井..昔はこの回りの柵もきれいではなかったですよ。図書館も、学内のさまざまな設備もきれいになっていますよ。

野中..長い間、勤務されて、外見だけでなく宮教大が大きく変わったと感じたことはありませんか。

中井..ありますよ。やはり法人化になってからですかね。ゆったりした国立大学から余裕がなくなり、昔の思い出として、何が楽しかったかと言えば、学生とのかかわりでしたね。夕方六時になると朝市の魚が安くなるんですよ。それを買ってきて、研究室でおろして刺身や鍋にしてみました。楽しかったですね。

これからの宮教大について

野中..これからの宮教大に対して思うことはどんなことですか。

中井..どんな学生を育てるのかを明確に打ち出す必要があると感じています。教員養成をする大学



が増えていきますから、同じような学生を輩出しても意味がない。宮教大の卒業生はいいですねと、言われるような特性を持たせられるようになってほしいですね。

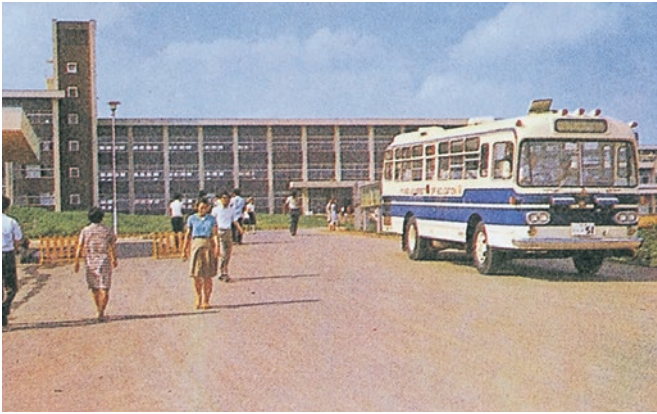
中井先生の近況



宮城教育大学 前副学長
中井 滋

教育の世界から離れて、ご家族との時間を大切にしながら、多くの趣味を楽しんでいらっしゃるご様子でした。

「お天気がいいときは、愛車のハーレーに乗って遊んでいます。紅葉のきれいな時期、四十八号線は最高ですよ。」
とにこやかにお話しする姿が印象的でした。(野中)



1968年(左)と現在(右)の正門前

遙かなる青葉山へも 散歩感覚で



言学校教員養成課程
昭和四十八年度卒

青柳 範明

受験のために栃木県から急行列車で四時間かけて仙台駅に降り立ちました。

バスで仙台駅前から青葉山に向かいましたが、どんだん山奥に入っていくので「本当にこんな山奥に宮教大があるのだろうか」と不安になったことを思い出しました。

大学に入学して二年間は男子寮におりましたので通学時間は数分でした。

当時は、大学ができて数年ということもあり、夜遅くに仙台市内から男子寮まで数名の相乗りでタクシーに乗ろうとした時に、運転手さんから「宮教大がどこにあるかわからない」と言われたことが印象的でした。バスで通学するようになったのは市内の農家に間借りした時からでしたが、仙台駅前から大学までのバス代は二十円だったと思います。

仙台駅前バス停からは東北大教養部や工学部の学生や教職員が乗車し

たので何時も満員状態でした。地下鉄ができてから宮教大に行く時は車ではなく東西線を使用するようにしています。

所要時間が少なく、本数も六、七分間隔で運行しているなどとても便利になったからです。

地下鉄青葉山駅から宮教大までは五百メートル程度です。冬や雨風の日を除けば散歩コースとしても素敵かもしれません。

昔はゴルフ場だったところに東北大農学部のカンパスが移転して相互に行き来しやすく、大学間交流も活発になることでしょう。

(大学生協勤務)

変わったもの 変わらぬもの



小学校教員養成課程

教育学コース

昭和六十二年度卒

平間 正信

三十年前、通学は仙台駅から大学までバスだった。当時は紙の定期券だったが、今は「イクスカ」ICカード乗車券だ。

一月二日、私は地下鉄仙台駅に向かった。大学最寄りの青葉山駅まで

四、三km、途中地上を走るのは広瀬川を通過する時だけだ。車両は鉄輪式リニアモーター方式で急勾配に強く揺れも少ない。その代わり、市内を見下ろし学生歌の「山に在りて」を実感したり、川内からの坂道に揺られながら周りの四季の変化を感じたりしていた私には若干物足りない。

青葉山駅のホームは地下六階にある。エスカレーターを乗り継ぎ地上に出た。目に飛び込むのは東北大学の真新しい建物群だ。講義の合間眺めていたゴルフ場は消え、僅かに奥に当時の斜面が見えるだけだ。ところが大学正門までの約五百mを進むにつれ、以前の景色が戻ってくるのを感じた。そして、そのことになぜか「ほっ」とする自分がいた。図書館や萩朋会館などは新しくなった。しかし、それ以外の建物やサークル棟、道路や山々など全体が当時のままだ。正月の大学は閑散とし、男子寮から四人の学生が萩朋会館に向かって歩いてくる姿だけがあった。その様子も懐かしい。

構内を一周し正門に戻ると、見慣れた緑色のバスが青葉台方面に向かって発車したところだった。帰りは車窓からの景色を楽しもうと思いい、バス停の時刻表を見た。「仙台駅行き」はなくなっていた。

(岩沼市立玉浦小学校勤務)

女子寮は遠かった



小学校教員養成課程
英語コース
昭和六十三年度卒
鈴木友吉子
(旧姓佐藤)

水の森の女子寮から、木町通小の
辺りまで？宮教大行きスクールバ
スに乗るため、三十分程歩いたおぼ
ろげな記憶があります。そこまで歩
けばバスで座れ、さほど時間がかか
らず、タダで大学へ行けたのです。

悪天候の日の市バスでの通学は
「本沢三丁目」から少し詰め状態の
ため、仙台駅まで一時間弱、更に乗
り換えてやっと宮教大というとな
つもない時間と体力を要しました。
ラッシュ時のバスは私には耐え難く、
途中から、原付バイクで通学するよ
うになりました。自分たちが卒業し
てから地下鉄南北線、そして昨年、
東西線が開通。

先日、初めて東西線で宮教大に向
かいながら考えました。今の女子寮
の皆さんは、どうやって通学してい
るのでしょうか。北仙台まで市バス↓
地下鉄南北線↓東西線と乗り継ぐな
ら、トータル四十分くらいでしょう

か。「青葉山駅」から宮教大までの
七百メートル徒歩の距離が、もしか
したら遅刻ぎりぎりで行く寮生だと
きついかも…。見当違いだったらす
みません(笑)。素敵になった食堂
でくつろぎ、帰りながら思いました。
当時、女子寮遠い〜と思ったけれど、
この大学に通い、教員になった人生
は、まあ良かったな…と。

(仙台市立台原中学校勤務)

近くなった母校



小学校教員養成課程
音楽コース
平成六年度卒
前田 恵

今年度、教員免許更新の講習受講
のため、何度か宮教大に行く機会が
ありました。これまでも、大学には
行くことがありましたが、地下鉄に
乗っていくのは初めてでした。

宮教大：というと、駐車場がない
から車で行けない、バスで行かなけ
ればならない、遠い…というイメー
ジがありました。ところが、地下鉄
東西線に乗ると、仙台駅から十分弱
で東北大学、工学部の前！何と近い

こと！地下鉄を降りて地上に出ると、
学生時代、八木山から利用していた
市バス「青葉城址循環」の「応用物
理学科前」のバス停のあたりでした。
青葉山駅の周囲は、以前あったゴ
ルフ場や茂みはなく、東北大学の校
舎が建ち並び、景色は大分変化して
いましたが、遠くに見える宮教大は
懐かしい佇まい。懐かしさを感じつ
つつ構内に入ると、中庭の池がなく
なり、校舎にはフリースペースの部
屋があり、図書館がきれいになり、
かなり変化していました。

土鈴作り、舞踊の授業、ハエを飼
育する課題、青葉山の散策、教員採
用試験に向けて苔の生えたプールで
の水泳練習：冷房の効いた教室で免
許更新の講習を受けながら、当時の
ことがふと頭に浮かびました。

あの頃思い浮かべていた未来に、
今、自分は立っているのかな？模擬
授業の連絡が並んでいる学生掲示板
の前で、あの頃の新鮮な気持ち
をちよっぴり思い出した瞬間でした。

(仙台市立柳生小学校勤務)



旧ゴルフ場側から宮城教育大学(左側)と東北大学理学部(右側)を望んだ景色

同窓会 報告

日時：平成28年7月30日
会場：ホテル白萩
参加人数：82人
内容：第1部 総会
第2部 記念講演
第3部 懇親会

大切な場所 —宮教大—



中学校教員養成課程・保健体育専攻
昭和六十年年度卒

又木 潤

平成二十八
年度同窓会が

見上一幸学長をはじめ多くの来賓の皆様、同窓生、現役の学生のみならずのご参加をいただき、無事に開催できましたことに改めて深く感謝申し上げます。また総会での記念講演として、ラジオ番組でパーソナリティとしてご活躍の同窓生石垣のり

こ氏には大変お世話になりました。改めて御礼を申し上げます。さて、

今回の準備委員会では、準備として歴代の実行委員の方々と同じように人集め、講演、などを中心に話をするのでありますが、この時間が大変貴重でした。現代は様々な価値観と教育論を持った人々が自由に物を言う世の中です。教師として時に心折れそうになったり、仕事に追われたりすることもありますが、大学時代のサークル・恩師の先生について話をしていくうちに当時のことが思い出されてくるのは大変心地よい時間でした。五十歳を過ぎて教え子に囲まれている私たちが、マイケル・K・マクマナス先生、高木力雄先生の教え子と

してお会いできてうれしい気持ちでいっぱいでした。懇親会では七十名を超える六十回・六十一回卒業生の参加でしたが、恩師の先生方を交えて会場は青葉山の構内となりました。この時、一人一人が心に感じたことは、教育にとっても大切なものなのではないかと思っています。宮城教育大学が、私にとって、参加者の皆さんにとって大切な場所であることを再認識させてくれた夢のような時間でした。ありがとうございました。

(仙台市立中野中学校勤務)

こめ 米とラジオと私と



小学校教員養成課程・教育心理学コース
平成九年度卒

石垣のりこ

宮城教育大学
同窓生の皆様、

こんにちは。先日、光栄にも総会でお話する機会を頂戴しました。ご静聴、ありがとうございました。

小学校の高学年頃にはすでにテレビからも遠ざかり流行の音楽からは縁遠くなっていた私の運命を変えた

のは、宮教大の掲示板に張ってあった宮城米のキャンペーンキャラクター募集のポスターでした。全国の主要都市に出向き宮城米をPRするという仕事で、実際に採用されると、各地のメディアを表彰訪問するなど華やかな一面もある一方、米の系統や食味の違いなどの基礎知識の習得を始め、スーパーのバックヤードで一人米を炊き、一口大のおにぎりにして店頭で試食販売をするなどの地道な販売補助の一面もありました。

もともと、お米には縁がありました。母方の実家は農家で「お米だけは美味しいものを食べなさい」というのが母の口癖でしたし、水田に囲まれた幼少期の環境に加え、小学校



講演「ラジオ制作という仕事に携わって」
～顔の見えない相手にいかに伝えるか～

三・四年の担任だったK先生の授業の影響もありました。K先生は、当時から今でいう生活科のような授業を行っていて、水田の観察、用水路探検や地元の方への聞き取りなど、校外学習も頻繁にあったと記憶しています。そうした学習の記録は二年間で六冊の本となり、現在も私の手元に残っています。

今の仕事でも米との縁は続いています。米とラジオ?と思った方は、ぜひ番組に耳を傾けてみてください。(エフエム仙台勤務)

楽しかった同窓会準備



中学校教員養成課程・理科専攻
昭和六十年年度卒

本郷 栄治

平成二十七年
秋、第二十八

回同窓会実行委員会事務局であった先輩から一冊のファイルを引き継ぎました。早速、準備開始!とはいかず、七名による実行委員会が発足したのは、前年度よりだいぶ遅い五月となっていました。



久しぶりに会う仲間と笑顔でパチリ

記念講演の依頼、演題は、アトラクションは…など、準備することは少なくありません。「実行委員会打ち合わせ」を重ねながら徐々に同窓会の形が決まってきました。

記念講演は同窓生である石垣のりこ氏に依頼。修学旅行引率中に快諾の返事をいただいたことが印象に残っています。当日は、「顔の見えない相手にいかに伝えるか」というテーマでラジオパーソナリティならではの話を聞くことができました。現役学生によるアトラクションは

「民族芸能研究会びっきい」に依頼。会場の下見なども入念に行い「大森御神楽」で会場を盛り上げました。

同窓生によるエールの依頼や恩師への連絡、資料作成など準備は着々と進められていきました。準備が進むにつれ、実行委員へ協力して下さる同窓生も増え、それに伴って参加の呼びかけも多行われるようになってきました。

そして当日、多くの同窓生と懐かしい再会を果たし、盛会のうちに同窓会は終了しました。御協力いただいた皆様へ感謝します。

平成二十八年秋、同窓会実行委員会事務局のファイルを次へ引き継ぎました。よろしくお願いいたします。

(仙台市立沖野中学校勤務)

わっしょい

小学校教員養成課程・理系ピーク
昭和六十年年度卒

三谷 公人



青森の山奥から、久しぶりに大都会仙台に出てきた「熊」は、広

範囲で右往左往するのであった。そして、浮かんだ言葉が「不易流行」。大学時代の四年間、勉学とバイトとラグビーとバイクと酒に全てを費やしていた私。「ホルマリン漬けのイカを○○した研究室」「技術科のイモの○○を伝授して下さった教授」「部の納め会で○○したら○○してしまっただけ一番町通りの○○」

「真っ赤に染まった拉麺」「花火の打ち上げ」等々、その当時と全く変わらないもの有り、逆に大変化したもの有り。

そして、同窓会もやっぱり「不易流行」。変わったものは「容姿・生活・社会的立場・講義内容…」変わらないものは「大学・恩師・友の熱き魂」。有り難いことに、締め

にエールをさせて頂きました。



びっきいによる迫力ある演舞

なまはげ 黒田謙二



小・美術ビーク 昭和五十三年度卒（仙台教育事務所勤務）

行ったのが「わっしょい祭」。皆様はわっしょいの語源をご存知ですか？「和を背負う」です。教授も現役も先輩も、そしてこれから和の中に入るであろう未来の後輩も、みんな心を一つに繋げて「宮教大」という御輿を背負っていく決意を確認した瞬間でした。「宮教大、和っしょい」は永久に不易です！

一つのイベントの裏には、数え切れないほどの支えと苦勞があります。同窓会・会報を支えてくださっている多くの方々に感謝いたします。

（青森県西越小学校勤務）



「わっしょい祭」のエールで大盛り上がり



エールの後は、みんなで手をつないで、心ひとつに

平成29年度（第30回）同窓会総会第一次案内

平成29年度（第30回）の同窓会総会は、下記の要領で開催されます。皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

〔日時〕 平成29年8月5日（土）午後3時 〔会場〕 ホテル白萩（仙台市青葉区錦町）

■第1部 同窓会総会 ■第2部 記念講演 ■第3部 懇親会
実行委員／昭和61年度、平成8年度、平成18年度卒業生

平成27年度 庶務報告

- (1)総会開催 平成27年8月1日 KKRホテル仙台
 (2)理事会開催 平成27年8月1日 KKRホテル仙台
 (3)総会実行委員会設立 昭和59年度、平成6年度、平成16年度卒業生担当
 (4)会報「山にありて」27号発行
 (5)学生自主活動支援
 (6)宮城教育大学50周年記念事業への協力

平成27年度 会計報告

単位 (円)

収入総額：20,028,935
 支出総額：15,657,103
 差引残額：4,371,832 (次年度繰越)

△減

1. 収入の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減額	備考
1. 会費	4,000,000	3,832,000	△ 168,000	479名 (在学生329名、卒業生150名)
2. 総会・懇親会	300,000	292,500	△ 7,500	
3. 利子	1,500	1,289	△ 211	
4. 雑収入	0	74,000	74,000	寄付
5. 繰越金	15,829,146	15,829,146	0	
合計	20,130,646	20,028,935	△ 101,711	

△減

2. 支出の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減額	備考
1. 事務費	330,000	142,123	△ 187,877	
(1) 事務費	50,000	22,254	△ 27,746	
(2) 通信費	50,000	25,977	△ 24,023	
(3) 人件費	200,000	69,700	△ 130,300	
(4) 会議費	30,000	24,192	△ 5,808	
2. 事業費	4,200,000	3,997,360	△ 202,640	
(1) 総会費	500,000	435,468	△ 64,532	
(2) 会報発行	900,000	886,411	△ 13,589	山にありて27号
(3) 会員情報管理費	1,700,000	1,543,457	△ 156,543	
(4) 学生活動援助	1,000,000	1,080,700	80,700	
(5) 広報費	100,000	51,324	△ 48,676	
3. 雑費	100,000	17,620	△ 82,380	
4. 予備費	4,000,646	0	△ 4,000,646	
5. 寄付	11,500,000	11,500,000	0	宮城教育大学50周年記念事業
合計	20,130,646	15,657,103	△ 4,473,543	

平成28年度 事業計画

- (1)総会開催 平成28年7月30日 ホテル白萩
 (2)理事会開催 平成28年7月30日 ホテル白萩
 (3)総会実行委員会設立 昭和60年度、平成7年度、平成17年度卒業生担当
 (4)会報「山にありて」28号発行
 (5)学生自主活動支援

平成28年度 予算

単位 (円)

収入総額：7,873,032
 支出総額：7,873,032
 差引残額：0

△減

1. 収入の部

項目	27年度予算額	28年度予算額	比較増減額	備考
1. 会費	4,000,000	3,200,000	△ 800,000	(400名×8,000円)
2. 総会・懇親会	300,000	300,000	0	
3. 利子	1,500	1,200	△ 300	
4. 雑収入	0	0	0	
5. 繰越金	15,829,146	4,371,832	△ 11,457,314	
合計	20,130,646	7,873,032	△ 12,257,614	

△減

2. 支出の部

項目	27年度予算額	28年度予算額	比較増減額	備考
1. 事務費	330,000	135,000	△ 195,000	
(1) 事務費	50,000	25,000	△ 25,000	
(2) 通信費	50,000	25,000	△ 25,000	
(3) 人件費	200,000	60,000	△ 140,000	
(4) 会議費	30,000	25,000	△ 5,000	
2. 事業費	4,200,000	3,350,000	△ 850,000	
(1) 総会費	500,000	400,000	△ 100,000	
(2) 会報発行	900,000	700,000	△ 200,000	山にありて28号
(3) 会員情報管理費	1,700,000	1,500,000	△ 200,000	
(4) 学生活動援助	1,000,000	700,000	△ 300,000	
(5) 広報費	100,000	50,000	△ 50,000	
3. 雑費	100,000	50,000	△ 50,000	
4. 予備費	4,000,646	4,338,032	337,386	
5. 寄付	11,500,000	0	△ 11,500,000	
合計	20,130,646	7,873,032	△ 12,257,614	

今年度定年退職教員

この春、お世話になった四名の先生方が定年を迎えられ退職されます。在学期間中の思い出や、宮城教育大学学生に対する思いを記していただきました。

宮城教育大学での

授業実践



社会科教育講座
教授
小金澤孝昭

三十五年間の宮城教育大学での生活でエネルギーを使ったものの一つに授業実践がある。

今でこそ、アクティブ・ラーニングといった双方向授業スタイルや体験学習が注目されているが、私の三十五年間の授業はアクティブ・ラーニングそのものだった。ゼミ生を中心にした地理学実習では、約二百三十人の学生達と地域調査を行い、地域社会の現場で東北地方の農村が兼業化され都市化されていく仕組みを報告書にまとめてきた。調査地域は

宮城県内（築館町、中田町、南方町、亘理町他）だけでなく、福島県（西会津町他）、山形県（米沢市、金山町他）、秋田県（稲川町、十文字町他）、岩手県（金ケ崎町）の広範囲に亘った。地理学演習では、二〇〇一年から、仙台いぐね研究会を結成し、地理学実習の他に、仙台市、名取市のいぐねを活用した課外学習イベントのいぐねの学校を実施した。

ここでは、小学生を招いて、田植え、草取り、稲刈りの米づくり体験と昔のくらしを学ぶ夏のいぐねの学校を十六年に亘って続けてきた。

また、国際文化専攻地域文化コースができた一九九六年以降は、海外調査も行い、一九九八年度からオーストラリアでの海外総合演習が始まり、現在も続いている。また二〇〇一年以降は、ヨハネスブルグ、キューバ、アメリカ、インド、モンゴル、中国内モンゴル、韓国、カンボジア、

芸術文化の牽引役

美術教育講座
教授
新田 秀樹

マレーシアでの海外調査を行ってきた。まさに、三十五年間の授業実践はアクティブな学びの連続だった。こうした取り組みができたことに感謝したい。

私が宮城教育大学に赴任したのは平成四年のことで、前職は宮城県美術館の学芸員でした。私は学芸部に所属していましたが、教育活動を担う普及部は宮教大美術科の出身者が軸となっていました。普及部の学芸員は本学でいう芸術体系的なジャンル横断的発想が豊かで、講師に招かれ

るアーティストにも宮教大出身者が多数いました。身体表現を採り入れた入試や合研制度で注目されていた宮教大の幅広い表現教育の成果がミュージアムの現場でうまく生かされているように感じたものです。

学校現場にだけ目を向けていると気付にくいことですが、このように近隣の文化施設でも本学の卒業生が多数活躍しています。もともと美術科は型にはまらない芸術家気質の学生が多く、文化マネジメントの能力も高かったために学校の壁を超えて地域社会に根を張り、芸術文化の牽引役となってきたわけです。学校と外部機関との連携はいろいろと発展の余地がありますし、超高齢化社会では八十歳を過ぎても文化的な学びに関心を持つ人たちはますます増えることでしょう。少子化によって教員養成大学は岐路に立たされていますが、宮教大がこれからもさまざま

また世代の多様な教育ニーズに柔軟に対応できるユニークな人材を輩出し続けることを願っています。

通勤の思い出



家庭科教育講座
教授
鎌田 慶朗

大学へは車通勤でしたが、山に登るため様々なエピソードに出会いました。主な経路は亀岡の神社から急坂を上るものですが、以前は途中にとんでもない坂道があり、路面状況が悪いと、積雪していなくても駆動輪がスリップしてしまうこともありました。積雪ともなれば様々な困難が待ち構えています。前輪駆動の場合、扇坂へ逃げれば概ね大丈夫でしたが、一度だけ後方から来る救急車を避けるため道路わきの除雪していない部分に片輪を突っ込んだら、そちらが空転して出られなくなりました。現在の車はそのような状況にも対応できるようにできていますが、その時は、通行人に押ししてもらって

脱出しました。それから四輪駆動を使うようになって、むしろ、他車の難儀を横目に走っていました。

動物とも出会います。クルマカラスはしばしば目撃しました。構内道路で縄が落ちていたのでそのまま進んだら、バックミラーの中で悶えていたり、ハトがいたので、どうせ飛んでいくだろうと思ったら、バックミラー中で羽が舞っていたりもしました。タヌキは何度か見かけましたし、ハクビシンの見ましたが、クマを見ることはありませんでした。震災時には、入構ゲートのところにカモシカが佇んでいるのも見かけました。



亀岡の神社からの急坂

若い時の「学び」が原点



英語科教育講座
教授
板垣 信哉

「気づいたら、三十三年！」ですが、「分からないことばかりなのに」が正直な気持ちです。

思い返すと、三十三年間の研究と教育の原点は、学生・院生時代の「学び」にあったと言えます。恩師の佐伯胖先生（専門：数理心理学・認知心理学）は「熟考型の研究者」で、問題を提起されますが、「答えは自分で探せ」というのが指導方針でした。カナダで指導を受けたゲリー・プリドー先生（専門：生成文法・心理言語学）は、「経験主義で、実験結果と実証的資料を深く考察・思考する」が指導方針でした。

自分の研究と教育を振り返ると、常にお二人の指導教員からの「学び」がありました。感謝と同時に、「お二人を超えたい」も正直な気持ちです。どの面でもそれほど超えたか、い

まだ超えられずにいるのか、自分でも分からないのですが。

学部・大学院は理工学研究科、カナダの大学院は言語学科で学び、日本では英語学教員、そして英語科教育法教員と学生・教員としてのアイデンティティ危機の連続でした。宮城教育大学教員として、定年を迎えるにあたり、思いは、「原点は学生・院生の時の学びであり、それは知識の学びでなく、学び方の学び」であります。学生には、常に「自らの学び方を身につけること」をそれとなく、指導してきたつもりですが、力不足を詫げる日々です。



五号館（左）と新しくなった図書館（右）

恩師は今

「本」に囲まれて



宮城教育大学 名誉教授
鈴木法日児
(憲法・政治)
(平成 22年3月 退官)

山をおりても、山にあったとき同様、「本」を読んで過ごしています。この間、合間に在仙のいくつかの大学などで講義をしてきました。いろいろな事情から、憲法だけでなく、行政法や医事法の講義もしてきました。このような守備範囲の広がりとともに、読みたい「本」だけでなく、読みたい「本」も増える一方です。保管場所が限られているので、小説の類は図書館で借りています。

ところで、ある辞典によると「本」の語源は「草木の根、根本」とあり、ひいては「根本、規範」の意となり「手本」の意



となったが、転じて「書物」の意となったとのこと。草木の花、葉、幹だけでなく、見えない地下の根まで見ることが大切だと言われた気分です。思えば、草木だけでなく万物・万人・万事について同様だと思えます。radicalの語源も思い出しました。

昨今、日本国憲法の「根、根本」とが腐ってしまうような感じがしています。「人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚する」(前文)国民の一人として心配しています。

同窓生の輪

FYTSの力でキャリア教育・志教育の推進



大崎市立古川中学校 校長
星 豪
(中学校教員養成課程・技術専攻 昭和 53年度卒)

大崎市は平成十八年三月に古川市と近隣六町が合併して誕生し、十年が経過しました。本校は、旧古川城の本丸に位置する古川第一小学校に隣接して開校し、七十年になります。

「夢・誇り・前進」の校是のもと、「常に正しきを求めて向上的態度を持つ」という教育目標としています。これは郷土の偉人である吉野作造博士の「古川餘影」から引用したものです。本校の特色ある取り組み



としてキャリア教育・志教育の推進があげられます。独自の地域支援団体「FYTS(ファイツ)」「F・ふるちゅう Y・よつて T・たがって S・そだってつちや)により、教育に熱い思いをもつ地域の支援者の協力を得て、総合的な学習の時間での「ドリーム・キャリア・セッション」(ゲストの方々)と将来の夢などを語り合うや、「古川のまちづくり」(まちを活性化させるプログラムの実践)でのグループワークなど探求的活動へご支援を頂いています。その成果を本年度、自主公開研究会において発表したところです。地域で活躍されているFYTS支援者の人的・物的資源を学校教育に取り入れる仕組みで、子どもたちは確実に視野を広げています。自己の生き方を考え、社会の一員として地域社会やまちづくりにへの参画意識が高まるなど、FYTSは本校の大きな財産となっています。



次回は、宮城県立光明支援学校 櫻村恵三先生(昭和五十五年度卒・小・保健体育ビーク)です。

僕の好きな先生

鈴木 一生

小学校教員養成課程
国語コース
平成2年度卒



私は決して褒められるような学生ではありませんでした。国語コースの必修科目を放棄しながら、ジャズの理論を勉強したくて音楽科の授業を履修するよいうな学生でした。そんな私にも恩師と呼べる先生がお二人いました。

まず、音楽の垣内幸夫先生（現京都教育大学教授）には本当に親しくしていただきました。一番の思い出は、太宰治の「女賊」を、板橋健先生の語りとアウレオ弦楽四重奏による垣内先生作組曲の演奏、シンセサイザーによる効果音、パフォーマー等々を組み合わせて表現した作品に、音楽・音響スタッフとして関わったことです。青森の斜陽館や、白石の碧水園等で公演を行いました。加藤豊樹先生

の題字や白石の紙漉きで作られた和紙での衣装など、今思い返してもワクワクします。

二人目は国語の宮川健郎先生（現武蔵野大学教授）です。卒業論で、どうしても筒井康隆の作品論をやりたくて、宮川先生しかいない！と指導教官をお願いしました。先生の指導のもと、ひとつの短編から虚構論を展開し、筒井の全体像まで網羅してやろうと意気込み、思う存分書くことができました。

宮教大は、素晴らしい先生と出会い、好きなことに打ち込める場でした。今は感謝しかありません。

（仙台市立蒲町小学校勤務）



恩師の垣内先生（左）と私（右）

親 子 DE 同 窓 生

私は決して褒められるような学生ではありませんでした。不規則な生活を送り、勉強そつちのりで大好きな音楽のことばかり考えていました。そんな学生時代、ターニングポイントとなった二つの出会いがあります。

まず、実習や学生ボランティアでお世話になった先生方や子供たちとの出会いです。先生方が子供たちと真剣に向き合う姿やそれに応えようと頑張る子供たちを肌で感じました。また、先生方の温かい声かけや手厚いご指導で、充実した経験をさせていただきました。そして、私の名前を呼び慕ってくれる子供たちと触れ合う中で、教員を自分の一生をかけた仕事にしたいと願うようになりました。

二つ目は、宮教大での、尊敬する先輩や同じ技術科で長い時間を共にした仲間たちとの出会いです。卒業後も何気ない会話で笑い合ったり、時には真剣に語り合ったりすることが社会人となった今、自分の原動力になっっていることを実感しています。

学生時代、研究室で友達とよく口ずさんでいた曲に「とにかく笑えれば、最後に笑えれば」という歌詞があります。私の学生時代には後悔もありますが、いつかそれをハハハと笑い飛ばせるよう、今後この仕事に一生懸命取り組んでいこうと思います。

（美里町立南郷小学校勤務）

笑えれば

鈴木 陸 生

初等教育教員養成課程
情報・ものづくりコース
平成28年度卒



父の学校で学生ボランティア



女子ソフトボール部 (OG)

小野 聡子

特別教科 数学 教員養成課程
昭和五十七年度卒

誕生物語!?



女子ソフトボール部が産声をあげたのは、三十八年前のことになります。私が入学した昭和五十四年の四月、様々な偶然が重なって、ソフトボール愛好会が誕生しました。創設時のメンバーは二年生一人と一年生四人の計五人。顧問になっていたのは、硬式野球部顧問の数見隆生先生。数見合研にボールやバットを置かせていただき、グラウンドの片隅で練習を開始。週に一〜二回くらいの練習でしたが、ゼロからサークルを作っていくことに、ワクワクしていたことをはっきりと覚えています。

一年目は細々と続けてきた活動でしたが、一年目にメンバーは十人以上になり、チームとしての活動が始まりました。野球経験のある一年生(男)に監督を引き受けてもらい、クラブチームの大会に参加できた時は、勝敗より試合ができる幸せを実感!そして気付いたのです。ソフトボールがさらに好きになっ

ていることに。単なる競技ではなく、人と人を繋ぐかけがえのない宝物になっていたのかもしれない。

なお、その後、同好会として認められ、卒業後に部に昇格しました。

(宮城県北部教育事務所勤務)



サークル 今昔



女子ソフトボール部 (現役)

古山 はるか

初等教育教員養成課程
国語コース三年

夢にときめけ!明日にきらめけ! めざせインカレ本戦!

こんにちは!女子ソフトボール部です。私たちは少ない人数ながらも自分たちで目標を立てて練習しています。二〇一六年には東北地区で第三位になり、文部科学大臣杯第五十一回全日本大学選手権大会、通称インカレに出場することが出来ました。自分たちで目標を掲げ、そのためにどんな練習をすべきかを話し合い、実践してきた結果が出せたと思っています。また、インカレに参加するにあたり、OGの皆さまから多大なるご支援をいただきました。本当にありがとうございます。

私たちは先輩後輩関係なく部員全員、仲が良い部活です。チームワークの良さはどの部にも負けません。辛い練習を乗り越えられたのは皆で励まし合いながら頑張ることができたからです。ソフトボールという競技を通して競技の面白さだけでなく、努力することの大切さ、仲間の大切さを学びました。また来年もインカレに出られるように...。夢にときめけ、明日にきらめけ、めざせインカレ本戦!



同窓会誌がWebページで見られるようになります

「できるだけ多くの同窓生の皆様にご覧いただきたい」という思いから、今号から本誌を宮城教育大学のWebページに掲載することになりました。

宮城教育大学Webページのメニューから「卒業生の方」をクリックし、「同窓会」リンクボタンをクリックすると、同窓会誌PDF版を閲覧することができます。

なお、ご覧いただく際には、パスワードの入力が必要となります。パスワードは「yamaniarite16」（やまにありて16）です。

現在、掲載に向けて準備を進めております。できるだけ早く皆様にお披露目できたらと思っております。



【宮城教育大学Webページより】

<http://www.miyakyo-u.ac.jp/graduate/index.html>

～同窓生の活躍をお知らせください～

次号から、各方面での同窓生の御活躍を紹介するコーナーを設ける予定です。受賞や表彰、著書の出版、個展や演奏会の開催などございましたら、下記同窓会事務局までお知らせください。お名前と著書名などの簡単な内容のみとなりますが、編集委員会で検討の上、本誌でご紹介いたします。

【連絡先：宮城教育大学同窓会事務局 alumni@adm.miyakyo-u.ac.jp】



宮城教育大学

平成29年度「ホームカミングデー」のご案内

東北の教育の中核を担う大学として「学び続ける教師」の視点に立ち、宮城県はもとより東北各県を中心に全国で活躍されている本学卒業生を招待し、本学の歴史的変遷の理解やそれぞれの現場が抱える課題について、意見や情報交換の場とするとともに、教職員と卒業生との相互の交流を深める機会として、ホームカミングデーを開催いたします。

◎日時：平成29年8月6日（日）10：00～

◎会場：宮城教育大学構内

◎主なイベント内容（予定）

- ・全体会
- ・在学生の発表
- ・昼食会（立食パーティー）【参加費無料】
- ・討論会

※その他、各種催しを予定しています。

■お問い合わせ先

- ・学生課学生企画係

電話：022-214-3595 メール：homecoming@adm.miyakyo-u.ac.jp



事務局だよ

平成二十八年度の同窓会総会は、又木潤氏（昭和六十年卒業第十八回生）を実行委員長として、七月三十日（土）、ホテル白萩にて盛大に執り行われました。多忙な中、総会開催に尽力された皆様に感謝申し上げます。また、講演を賜りました石垣のりこ氏（昭和九年度卒業第三十回生）に御礼申し上げます。平成二十九年度は、昭和六十一年度卒業の皆様を中心に実行委員会が結成され、八月五日（土）にホテル白萩にて開催予定です。記念すべき第三十回目の総会となります。皆様のご参加をお待ちいたしております。

さて、宮城教育大学創立五十周年に際して、同窓会では「地域に開かれた大学のための環境整備事業」（講堂の改修）等に寄付を行いました。その後、講堂の改修は順調に進んでおり、今号が発行される平成二十九年三月には工事が完了する見込みです（平成二十九年一月時点）。大学からは、寄付を頂いた方々のご芳名をプレートにして掲額する旨お知らせがあり、三月二十二日（水）には掲額除幕式が開催されるということです。今号が皆様のお手元に届く頃には、新しい講堂が様々な形で広く活用されていることと思

います。また、今号でもご案内の通り、同窓会総会翌日の八月六日（日）には大学主催のホームカミングデーも開催されます。皆様ぜひ大学まで足を運ぶください。

最後に同窓会会報につきまして、この数年間は、会費未納の皆様にも毎年お送りいたしました。しかし、前号（二十七号）の発送時にもご案内申し上げましたとおり、同窓会理事会での検討結果を踏まえ、今後は未納の皆様には数年に一度の送付とすることとなりました。同窓会会報の発行を含め、同窓会活動は皆様からの会費によって成り立っております。未納の皆様におかれましては、このことをご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓生の皆様の日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き同窓会活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会費納入先

郵便振替

0224012134558

宮城教育大学同窓会

同窓会費：八、〇〇〇円（終身会費）

事務局長 越中 康治

（平成二十二年卒業）

恩師訃報

川上	吉昭先生（保健体育）	平成二十八年	五月二十四日
伊藤	順子先生（幼児教育）	平成二十八年	五月二十六日
舟山	裕士先生（理科教育）	平成二十八年	七月十一日
石井	厚先生（障害児）	平成二十八年	七月十六日
菅野	仁先生（副学長）	平成二十八年	九月二十九日
山水秀一	郎先生（生活系）	平成二十八年	十月十六日
大村	厳先生（事務局）	平成二十八年十二月	十四日

が、ご逝去なされました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

編集後記

みなさまの御協力により、第28号が完成しました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

特集では、地下鉄東西線開通1周年を記念し、宮教大周辺の変化の様子をお伝えしました。懐かしいお話も伺うことができ、楽しい取材となりました。

写真ではお伝えしきれないのですが、青葉山駅を出ると、本当に驚きの世界が広がっています。これからまだまだ変わっていくそうです。大変便利になりましたので、仙台へしばらく来ていない方もそうでない方も、ぜひ一度、大学に足を運んでみ

てください。変化の様子を楽しみながら懐かしい日々を思い起こし、心も体もリフレッシュできることでしょう。

（編集長 野中 映里

仙台市教育センター勤務）

【編集委員】

橋本 俊一（昭和48年度卒業）
 末永 精悦（昭和53年度卒業）
 鈴木 朝二（昭和53年度卒業）
 平間 正信（昭和62年度卒業）
 浅野 郁子（昭和62年度卒業）
 加藤 良樹（平成6年度卒業）
 堀之内優樹（平成9年度卒業）
 野中 映里（平成10年度卒業）
 近藤 ゆき（平成13年度卒業）